

第49回北区区政会議 会議録

1 開催日時

令和8年2月26日（木） 午後3時30分から午後4時53分まで

2 開催場所

北区役所 4階 402・403会議室

3 出席者

吉川 郁夫（議長）、吉沢 克規（副議長）、井筒 由裕（委員）、

大宮 晴代（委員）、奥 一朗（委員）、栗原 豊美（委員）、

國米 和子（委員）、島村 恭平（委員）、杉本 秀司（委員）、

永田 博之（委員）、西野 仁（委員）、村上 愛子（委員）、

屋宜 尚美（委員）

山本 智子（市会議員）、久谷 眞敬（府議会議員）

寺本 譲（区長）、中谷 広美（副区長）、森 正俊（総務課長）、

池西 かおり（政策推進課長）、

中野 義宣（地域課長）、兼坂 晃始（健康課長）、谷澤 守（福祉課長）、

吉田 和子（子育て・教育課長）

奥中 理恵（政策推進課担当係長）

4 委員に意見を求めた事項

令和8年度北区運営方針（案）について

5 議事内容

○奥中政策推進課担当係長

お待たせいたしました。ただいまから第49回北区区政会議を開会いたします。

本日は、お忙しい中御出席賜り、誠にありがとうございます。

北区役所政策推進課の奥中でございます。どうぞよろしく願いたします。

まず、開会に当たりまして、区長の寺本から御挨拶申し上げます。

○寺本区長

皆様、こんにちは。北区長、寺本でございます。

本日は皆様、御多用の中、第49回北区区政会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、平素より、今日お集まりの皆様方には、各方面におきまして、本当に北区政のために御尽力いただき、また御支援いただいておりますことに改めて御礼を申し上げます。どうもありがとうございます。

先日委員の交代がございまして、本日は新たなメンバーの方も加えての開催となっております。新たに御就任いただきました皆様方には、率直な御意見をいただければと思っております。

また、引き続き委員をお務めいただきます皆様方には、本当にこの間も忌たんのない御意見をたくさんいただいております、また北区の新たな行政に十分生かしてまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いたします。

今日は令和8年度の北区運営方針（案）についてという議題とさせていただきます。既に御覧いただいているかもしれませんが、今年度まで大阪・関西万博に関連する取組を進めており、万博の重点予算というものも使わせていただきまして、各方面でいろんな行事も進めてきたんですけれども、万博の終了を受けまして、いかに万博レガシーを来年度以降につなげていくか、我々区役所一同、苦心して来年度の予

算、事業の立て方を考えた次第でございますので、できる限りのことは進めていきたいと思っております。

北区の将来ビジョンに「人が集い、ともに支え合い、絆をはぐくむまち」と掲げておりまして、誰もが居場所を感じられるまち北区を目指して、これからもまい進してまいりたいと思っております。このためには、各種施策事業を展開しまして、区民の皆様の満足度、あるいは幸福度をどうやってはかるかですけれども、北区に住んでよかったという思いを強くしていただけるような行政運営をしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

我々ではあまり目が届かない、あるいは地域が目線で感じられたことを我々の改善のヒントにしたいと思っておりますので、ぜひとも忌たんのない御意見をいただけたらと思っております。

簡単ではございますが、以上をもちまして開会の挨拶とさせていただきます。

2年間、皆様方にはお世話になるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

○奥中政策推進課担当係長

では、本日御出席いただいております委員の皆様を御紹介させていただきます。

お手元にお配りしております北区区政会議委員名簿の順にお名前をお呼びさせていただきます。

井筒委員でございます。

○井筒委員

よろしく申し上げます。

○奥中政策推進課担当係長

大宮委員でございます。

○大宮委員

よろしく申し上げます。

○奥中政策推進課担当係長

奥委員でございます。

○奥委員

よろしく申し上げます。

○奥中政策推進課担当係長

栗原委員でございます。

○栗原委員

よろしくお願ひいたします。

○奥中政策推進課担当係長

國米委員でございます。

○國米委員

よろしくお願ひいたします。

○奥中政策推進課担当係長

島村委員でございます。

○島村委員

よろしくお願ひいたします。

○奥中政策推進課担当係長

杉本委員でございます。

○杉本委員

はい、よろしくお願ひします。

○奥中政策推進課担当係長

永田委員でございます。

○永田委員

よろしくお願ひします。

○奥中政策推進課担当係長

西野委員でございます。

○西野委員

はい、お願ひします。

○奥中政策推進課担当係長

村上委員でございます。

○村上委員

よろしくお願ひいたします。

○奥中政策推進課担当係長

屋宜委員でございます。

○屋宜委員

よろしくお願ひいたします。

○奥中政策推進課担当係長

吉川委員でございます。

○吉川委員

よろしくお願ひします。

○奥中政策推進課担当係長

吉沢委員でございます。

○吉沢委員

はい、吉沢です。お願ひします。

○奥中政策推進課担当係長

ありがとうございました。

続きまして、本日御出席いただいております北区選出府議会議員を御紹介させていただきます。

久谷府議会議員でございます。

○久谷府議会議員

いつもありがとうございます。よろしくお願いします。

○奥中政策推進課担当係長

ありがとうございます。

次に、北区役所の職員を御紹介させていただきます。

改めまして、区長の寺本でございます。

○寺本区長

はい、どうぞよろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課担当係長

副区長の中谷でございます。

○中谷副区長

よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課担当係長

総務課長の森でございます。

○森総務課長

森でございます。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課担当係長

政策推進課長の池西でございます。

○池西政策推進課長

池西でございます。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課担当係長

地域課長の中野でございます。

○中野地域課長

よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課担当係長

福祉課長の谷澤でございます。

○谷澤福祉課長

よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課担当係長

健康課長の兼坂でございます。

○兼坂健康課長

よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課担当係長

なお、森本窓口サービス課長、高下生活支援課長につきましては自席待機となっておりますので御了承ください。

それでは次に、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第1項により「区政会議の委員は、その互選により議長及び副議長を選任するものとする。」と規定されておりますので、この会議における議長、副議長を選任いただきます。この会議の前に開催させていただきました委員連絡会におきまして、委員の皆様のご意見がごまとまりでしたので、その内容を申し上げ、確認いたします。

申し上げます。議長及び副議長の選任については、委員の互選により、議長に吉川委員、副議長に吉沢委員を選任するということよろしいでしょうか。

ありがとうございます。では、ただいま吉川議長、吉沢副議長が委員の互選により選任されましたので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、本日の議事につきましては、委員定数13名のうち13名が出席されており、議長を含む委員定数2分の1以上の委員が出席されておりますので、有効に成立いたします。

それでは、議長、副議長から一言御挨拶いただき、議事のほうを進めていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○吉川議長

ただいま議長に選任されました吉川でございます。

委員の皆様方の御協力をいただきまして、円滑な進行に努めてまいりたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。

○吉沢副議長

ただいま副議長に推挙いただきました吉沢でございます。

吉川議長を補佐して、頑張りますのでよろしく願いいたします。

○吉川議長

それでは、早速でございますが、議事に入りたいと存じます。

次第に沿って議事を進めてまいりたいと思います。

委員の皆様には、入り口で意見を述べたい項目を区役所に確認していただいておりますので、できる限り御希望のテーマに意見を述べていただけるようお願いをいたします。

また、できるだけ多くの方の御意見を賜りたいと存じますので、円滑な議事進行に御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本日の進行につきましては、議題の令和8年度北区運営方針（案）について、分野ごとに区役所から御説明をいただき、委員の皆様の意見をお伺いしてまいりたいと存じますので、それでは資料の説明をお願いいたします。

○池西政策推進課長

それでは、令和8年度北区運営方針（案）について御説明いたします。資料1のほうを御用意ください。

北区運営方針は、北区将来ビジョンで示された施策展開の方向性に沿って、区がその年度に取り組む施策、事業を整理し、実行につなげるための単年度のアクションプランとなっております。

区の目標は、将来ビジョンで掲げる将来像「人が集い、ともに支え合い、絆をはぐくむまち」の実現です。また、区の使命として、地域住民が安心して暮らせるだけでなく、訪れる人々にとっても心地よいまちをめざすとともに、温かいコミュニティを育み、誰もが居場所を感じられるまちをめざします。なお、この居場所を感じられるまちという視点は、区政会議でいただいた御意見を踏まえて設定しているところです。

2ページを御覧ください。

令和8年度の区運営方針の基本的な考え方について御説明します。

北区将来ビジョンでは、将来像を具体化した3つのまちの姿を掲げており、令和8年度はこの3つの姿に沿って施策を進めていきます。

1つ目は、「安全・安心を身近に感じられるまち」です。防災対策、防犯・まち美化の取組を進めます。2つ目は、「誰もが幸せに暮らせるまち」です。北区地域福祉計画の推進、健康寿命の延伸、子育て施策の充実に取り組みます。3つ目は、「地域資源やポテンシャルを活用し、持続可能で魅力的なまち」です。地域コミュニティの活性化や教育環境の支援を進めるとともに、令和8年度の新規項目として、官民連携の推進を位置づけ、北区の強みを生かした取組を強化してまいります。

重点的に取り組む課題について御説明いたします。

本日は委員の皆様からのアンケートでの御意見を踏まえまして、論点が散漫にならないよう、テーマごとに説明した上でご意見を頂く進行方法とさせていただきます。

それでは、3ページを御覧ください。

防災対策についてです。

まず、課題です。地域のつながりが希薄化する中、コミュニティ形成を促進し、防災訓練等を通じて地域防災力の向上を図る必要があると認識しております。

次に、課題解決の方策です。災害時にも支え合える関係づくり、いわゆる共助を促進します。その上で、自分と家族の命は自分と家族で守るという自助を基本に、地域で互いに助け合える体制づくりを進めていきます。具体的には、地域での防災訓練をはじめ、実践の場や学びの機会を支援・実施してまいります。

最後に、進捗を示す指標です。防災訓練に加え、各種講座や研修なども含めた参加者数を指標とし、1万2,000人を目標として取り組んでまいります。

4ページを御覧ください。

防犯・まち美化対策についてです。

まず、課題です。街頭犯罪や放置自転車を減らすため、地域住民、商店街、企業等

と連携して啓発と撤去を進め、自転車利用者のマナー改善を図る必要があると認識しております。

次に、課題解決の方策です。1つ目は、地域住民、商店街、企業等と連携した啓発活動を継続して実施します。2つ目は、啓発や監視活動と連動させながら、駐輪場の利用を促進し、放置しない行動を増やすことで、放置自転車の発生を抑えていきます。

続いて、進捗を示す指標です。啓発活動については、地域住民、商店街、企業等と連携して実施した地域数を4地域以上とします。また、放置自転車対策の成果として、自転車放置率を8%以下とすることを目標にします。なお、昨年度は放置自転車対策に特化した内容としていましたけれども、これまでの区政会議で、街頭犯罪の観点からも御意見をいただきました。これを踏まえ、令和8年度は放置自転車対策に加えて、街頭犯罪の防止にも取り組んでまいります。

防災、防犯・まち美化対策については以上でございます。

○吉川議長

ありがとうございました。

ただいま御説明をいただきましたが、皆さんから意見を述べたい項目の中で、まず防犯、まち美化について御希望されています西野委員、お願いいたします。

○西野委員

西野です。よろしくお願いたします。

防犯、まち美化ということで、放置自転車を減少させるためにいろいろな対策をしていただいているんですけども、半年ぐらい前から気になることがあります。この北区役所の駐輪場がありますよね。前にありますけれども、明らかに北区役所に用事のない方が24時間止めておられたりとかということで、利用者さんが自転車を止めるところがなくなっているという問題が出てきているんじゃないかなと思っており

ます。

私も青少年指導員を務めておりまして、二十歳の集い、成人式のために1台、放置されていたバイクが止められていまして、それを6人がかりで移動させたりとかそういったことがありまして、この北区役所の前のこの駐輪スペースの取組といいますか、今後の対策というのをちょっと聞かせていただければなと思います。

我々、会議とかで利用する面々がどうしても区役所に自転車が止められないような状況になるというのはなかなか難しくなってくるのかなと思いますので、御回答いただければと思います。

○吉川議長

ありがとうございました。

この御意見に対しまして、総務課長、よろしく願いいたします。

○森総務課長

総務課長、森でございます。

確かに委員の御指摘のとおり、開庁前の駐輪場に自転車が既に止まっているところが見受けられることもございます。数年前にも一度、別のところから御指摘がありまして、ゲートをつくるなり、自転車を引っかけるところを置くことを検討したんですけども、やはり区役所前での健診がある関係上、検診車の出入りが月に何度かあり、またゲートをつけますと、車椅子などの入場を妨げてしまうという問題が想定されまして、今のところ、効果的な駐輪場の整備利用の体制がとれない状況ではあるんですけども、課題として認識しております、今後、検討に努めていきたいと考えておりますので、どうぞ御理解のほどよろしくお願いいたします。

○吉川議長

ありがとうございます。

西野委員、どうでしょうか。

○西野委員

課題認識されているのであれば、大丈夫かなと思います。各24区、各区でこれ同
じような問題が多分出始めてきているので、4月以降、厳罰化が進んだときに、さら
に増えたりするのかなとかちょっと思ったりしますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○吉川議長

ありがとうございました。

本日は最初の区政会議ということで、皆さん述べたい意見が少ないようですので、
何かございましたら、適宜に発言していただければと思いますので、よろしく願い
します。

○井筒委員

美化でよろしいでしょうか。

○吉川議長

はい、どうぞよろしく願いいたします。

○井筒委員

近くの公園とかで、放置自転車がすごく減ったんですが、その代わりに、たばこと
ごみが増えているんですよ。今まで自転車で置いてあるから、そこまで行けなかった
のが、公園のそばまで行けるんで、昼頃になっていると、会社員の人会社がたばこ

が吸えないから。公園も禁煙なんですけれどもね。公園の周りで吸うと、ごみがかなり増えているんですよ。その対策で、禁煙って書いても吸うやろうけれども、何かもうちょっと看板だけでも取りあえず、ごみ捨てるなとか、ごみ捨てるななんて、捨てるみたいな感じなんですけれども、できるだけそういう看板とかを増やしていただけると非常にありがたいんですが、よろしくお願いいたします。

○吉川議長

ありがとうございます。

これはこれから推進していただくということでよろしいでしょうか。

○井筒委員

はい。

○吉川議長

はい。それでは次に、希望されております屋宜委員、お願いいたします。

○屋宜委員

今おっしゃっていたごみとたばこの問題なんですけれども、済美地域も中崎町のやっぱり今すごく観光客といますか、人がとても増えてきて、古着屋さんとかお店とかすごく増えてきているんですけれども、従業員の方とかが結構たばこをやっぱり角とかで吸われていて、それのごみとかもすごく増えてきているというのが現実なんです。もし、地域とかに喫煙所とかをつくっていただければうれしいなというところはあるんですけれども、なかなかそういうのはやっぱり難しいんでしょうかという。

以上です。

○吉川議長

ありがとうございます。

これは大変重大な問題と思いますが、何か御回答いただけますか。

中野地域課長、お願いします。

○中野地域課長

地域課長、中野です。

おっしゃるとおり、ごみの問題ですとか、特に喫煙対策は万博の開催に当たって大阪市としても喫緊の課題ということで、この間、市を挙げて喫煙所の設置や啓発を進めてきているところです。例えば、たばこの供給元である事業者さんとの意見交換とか、あるいは駅周辺、駅長さんも含めた地域の方や企業の方とも話をしながら、できれば喫煙所の設置ということになりますけれども、啓発も含めて取組を進めていきたいと思っています。

喫煙所の設置となりますと、その土地や費用、維持管理の問題が出てきますので、一足飛びにはいかないですけれども、まずは美化ということで、それぞれの地域での啓発を含めた地道な取組によって対策を進め続けていきたいと思っておりますので、お気づきのことなどがありましたら、我々地域課に担当もおりますので、お知らせいただいて、できれば一緒になって地域の方とできるところから対策していきたいと思っています。ハード面の取組を含むところについては、我々も担当局のほうに要望しながら順次進めていきたいと思っておりますので、御理解賜りますようよろしくお願いいたします。

○吉川議長

ありがとうございました。

屋宜委員、今の回答でよろしいでしょうか。

○屋宜委員

地域、住んでいる住民の人たちはすごく意識しているんですけども、お店の人たちがあまり意識がないんじゃないかというその啓発をもし区役所のほうでしていただけたらありがたいです。

○吉川議長

またこれも難しい問題ですけども、ひとつよろしく願いいたします。ありがとうございました。

次にまいりたいと思いますが、何かこの防災、防犯、美化につきまして、何かほかに御意見ございませんか。何か述べたいという方はございませんか。

そしたら、ちょっと順序が変わりますけれども、島村委員、何か御意見ございますか。

○島村委員

豊崎東の島村です。2期目を務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

事務局の皆様におかれましては、選挙直後の大変お忙しい時期に、政策推進課の皆様を中心に事前質問票へのご回答をいただき、ありがとうございました。

ご回答を読ませていただいて、事務局の皆様にはいろいろよくやっていただいているなと思いますし、また前回のメンバーの皆さんも含まれていたと思うんですけども、各委員のそれぞれの取組に対する想いを拝見して、この2期目も頑張ってお席させていただこうと強く思ったしだいでございます。

本日は会場での質問は控えるつもりでしたが、せっかく丁寧に作成いただきまし

たので、この事前質問票の内容に関して補足説明などがあれば、ぜひお話しいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○吉川議長

ありがとうございます。

池西課長、よろしくお願いいたします。

○池西政策推進課長

皆様に忌たんのない御意見を伺って、なるべく反映しながら、皆さんの御意見と、それをどう反映できたかというのも分かりやすくお示しできたらと思っております。

また、今日が初回となる委員の方々もおられましたので、会議前に30分間お時間をいただきまして、顔合わせと初めての会合の場を設けております。そういった場でも御意見をいただけたらという思いで、皆様にお集まりいただきました。

加えて、御意見を頂きやすいように、テーマごとに説明は区切るように変えてみました。

なかなか皆様、何を言ったらいいのかな、こんなこと言っているのかなと心配されながら御発言いただいているようですけれども、率直なところをお聞かせいただけたらと思っているところです。

以上です。

○吉川議長

ありがとうございます。

島村委員、よろしいでしょうか。どうぞ。

○島村委員

課長、突然振ってしまい申し訳ありませんでした。

○池西政策推進課長

すみません。

○島村委員

本日、当初は質問を予定しておらず、2期目にあたったの抱負をお話しさせていただこうと考えておりました。

私はこれまで18年間、神戸市役所で行政実務に携わり、その後は港区や京都などを拠点に活動してまいりました。こうした外部からの視点で改めて北区を俯瞰した際、全国の政令指定都市の中でも、これほど都市機能と居住環境が調和した魅力的な行政区は、他都市の職員から見ても羨ましく、また一住民として非常に誇らしく感じております。現在、私自身も小さな子どもを育てておりますが、本当に良いまちだと実感しています。

一方で、先ほど話題にあがった裏天満の治安維持や地域活動の担い手確保、さらには南海トラフ巨大地震への備えなど、将来を見据えた喫緊の課題があることも十分に認識しております。この北区の恵まれた環境を次世代へ確実に引き継いでいくため、皆様と共に真摯に会議に臨んでまいりたいと考えております。

あと、私事で恐縮ですが、4月からはこれまでの教育分野とは異なり、引き続き京都を拠点としながらも、高齢者福祉や地域福祉に携わる予定です。京都での事例や実務経験も踏まえ、多角的な視点から本会議に貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○吉川議長

島村委員、ありがとうございました。

それでは、次にまいりたいと思います。

○池西政策推進課長

では、資料1の5ページを御覧ください。

福祉、健康、子育てについて、まずは地域福祉計画の推進についてです。

まず、課題です。福祉課題の重篤化を防ぐため、地域活動を支援して福祉人材を継続的に発掘しつつ、地域、企業、団体と連携して、要援護者名簿も活用した切れ目のない見守り支援体制を強化する必要があります。

6ページを御覧ください。

課題解決の方策です。1つ目は、「まちとも事業」を継続的に実施し、日常的に福祉活動への意識を高めるとともに、サポート会員の人材発掘を進め、住民同士の助け合いを推進します。2つ目は、地域での生活課題を早期に発見し、必要な支援や専門機関へ適切につなげられるよう支援体制を構築します。併せて、地域で身近に相談できるつながりをつくるため、世代や属性を問わず交流できる居場所を増やしていきます。3つ目は、北区の特性を生かし、民間企業など多様な主体とのネットワークを広げます。子育て支援やボランティア活動、まちづくり、防災防犯活動、健康づくりなどとも連携しながら、地域における福祉活動を一体的に推進します。

最後に、進捗を示す指標です。地域福祉コーディネーターによる地域の見守り、声かけ活動の件数を指標とし、令和7年度実績以上を目標とします。現時点では2万500件程度を見込んでおります。

7ページを御覧ください。

健康長寿の延伸についてです。

まず、課題です。健康寿命の延伸に向け、健診、がん検診の受診率向上と介護予防の推進が必要と認識しております。

次に、課題解決の方策です。1つ目は、検診の受診率向上です。特定健康診査、がん検診のうち、受診率が低い一方で、罹患率、死亡率ともに増加している大腸がんに着目し、広報の取組を強化して受診勧奨を進めます。2つ目は、介護予防の推進です。介護予防に効果があるいきいき百歳体操やはつらつ脳活性化教室を推奨し、日常的な健康づくりを進めます。あわせて、教室を支えるサポーターの養成や支援を行い、地域で活動が継続できるよう後押しします。

最後に、進捗を示す指標です。大腸がん検診については、北区保健福祉センターでの受診者数を300人以上とします。また、いきいき百歳体操及びはつらつ脳活性化教室については、開催箇所数を26か所以上とし、取組の広がりを確認してまいります。

8ページを御覧ください。

子育て施策の充実についてです。

まず、課題です。子育ての不安や不登校、ひきこもり等の課題を抱える家庭には、状況に応じた継続的な相談・支援が必要であると認識しております。

次に、課題解決の方策です。1つ目は、相談体制の充実です。子育ての不安や課題を早い段階で受け止め、適切な支援につなげられるよう、相談できる環境を整備します。併せて、子育てニーズや各課題に対応した事業について、利用案内や周知を積極的に行い、必要な支援が必要な人に届く状態をつくっていきます。2つ目は、支援ネットワークの強化です。地域の関係機関や団体とのネットワークを拡充し、子ども・子育て支援体制を強化します。見守りや支援が必要な子ども、世帯を早期に把握し、適切な支援につなげる仕組みづくりを進めます。

最後に、進捗を示す指標です。区役所の働きかけにより関係を構築できた子育て支援施設数を指標とし、対象となる全101施設との関係構築を目標として取り組みます。

福祉、健康、子育て施策については以上です。

○吉川議長

ありがとうございました。ただいま御説明がございましたが、この項目に対しまして何か御意見ありますでしょうか。

大宮委員、よろしく申し上げます。

○大宮委員

堀川の大宮と申します。よろしく申し上げます。

今ちょうど話を聞いていまして、つい先日に相談というような硬いものではなくて、おしゃべりの中で、こういう状況なのよという話を聞いたのをちょっとお話しさせていただきます。

80歳で独り暮らしの女性の方なんですが、非常に活発な方で、健康体操とか百歳体操とか脳活とか、それから食事サービスも必ずいらっしゃいますし、ふれあい喫茶もいつも顔を出していただいています。キタロー（大阪市立北区北老人福祉センター）ですか、あそこでやっている分にも積極的に参加してはるんです。その方が家が古くなって建て替えることになったと。そのときに建て替えている間の住まいを近所で探すんだけど、どうしても80歳ということで、貸してくださるところがないと。でも、私はここにいたいと、この生活をしているから元気に暮らせているし、周りもみんな知っている人ばかりで楽しい生活を送っているから、ここにいたいのに、どこも貸してくれるところがないと。それか、ほかに行ったら、そういう地域があるのかなのか、その辺もまだ調べてはれへんのですけれども、さて、それがあのかなくて。貸すほうにしてみたら、やっぱり1人で高齢者というのはやっぱり敬遠したくなるやろなということも分かるし、なかなか難しい問題やなと思ったんですが、それを公的な援助といいますか、援護といいますか、その辺があるのかなのか、全く個人的に処理しないといけない事案なのかどうか、その辺をお伺いしたいと思います。

○吉川議長

ありがとうございます。

これも大変難しい問題です。

福祉課でよろしいでしょうか。

○谷澤福祉課長

福祉課長の谷澤です。

今、お話を聞かせていただいた中では、即答できる公的なサービスというのはやはり難しいところではあります。

ただ、先ほど大宮委員がおっしゃったように、住居を貸す側としても、やはり高齢の方のおひとり暮らしですので、万が一、何かあったときのことを心配されるところもあるんですけれども、申し訳ないんですけれども、今のところ、公的なサービスで優先的に入所していただけるというようなところは今のところないというところを御理解いただければと思います。

○吉川議長

ありがとうございました。

大宮委員、どうでしょうか。

○大宮委員

そうですね。なかなか難しい問題やとは思いますが、自分で頑張って探してくださいって言うしかないんでしょうかね。もし何か。

○池西政策推進課長

大阪市に都市整備局という部局があるんですけれども、そこでは、高齢の方や障がいをお持ちの方などにご利用いただける大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度と

というのがございまして、不動産業者さんを御紹介するなどして民間の賃貸住宅への入居をサポートする制度があるようですので、また後ほど御案内させていただきます。

○寺本区長

一旦お調べします。

○大宮委員

はい、よろしく申し上げます。ありがとうございます。

○吉川議長

ありがとうございます。

大宮委員、今のをもう一度また改めて詳しく聞いていただいて、また善処していただければと思います。ありがとうございました。

次に、ほかにございませんか。

杉本委員、どうぞ。

○杉本委員

大淀の杉本です。

御説明どうもありがとうございました。目標地点、目標として、大腸がんの検診受診者数が300人以上にするとか、それからいきいき百歳体操の箇所が26か所以上というふうにご説明いただきました。ありがとうございます。

目標を立てるといのは現状があつてのことでしょうから、今までの実績というのはどうなんでしょうか。よろしいですか。

○兼坂健康課長

健康課長の兼坂です。

大腸がん検診ですけれども、令和6年度の実績は280人ほどで、それを超える形で300人やっていきたいと考えてございます。

教室等は、現状26か所ですかね。今確認させていただきます。

○杉本委員

ありがとうございます。よく分かりましたが、トータル、全ての地域になると、何件になるのでしょうか。

○兼坂健康課長

全ての地域とおっしゃいますのは。

○杉本委員

要は、これは地域地域によって体操であるとかはつらつ脳活性とかがあると思うんですけれども、マックスが幾らなのか。全ての地域がやられたときには100か所になるのか、それとも60か所なのか、それを教えていただけたらいいかなと思いました。要するに完璧な状態は幾らなんだということです。

○兼坂健康課長

小学校区とかいろいろ地域はあるかと思うんですけれども、もちろん多いほうがいいというのもありますので、具体的にマックスという設定はしていなくて、カバーできる範囲として北区の場合は現状を踏まえて26か所以上と考えているところです。

○杉本委員

分かりました。ありがとうございました。

○吉川議長

杉本委員、よろしいでしょうか。

○杉本委員

はい。

○吉川議長

ほかに何かございませんか。

それでは、次のテーマにいきたいと思いますが、御説明をお願いいたします。

○池西政策推進課長

続きまして、地域資源やポテンシャルを活用し、持続可能で魅力的なまちの御説明をいたします。

9ページを御覧ください。

地域コミュニティの活性化についてです。

まず、課題認識です。地域との関わりが少ないマンション住民等への取組が必要であり、つながりの希薄化による担い手不足などが生じています。

次に、課題解決の方策です。1つ目は、地域活動協議会の活動状況や自律の状況を把握し、地域カルテの更新等で課題を共有した上で、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行い、マンション居住者を含む幅広い住民参加による自律的な地域運営を目指すことです。2つ目は、防災をテーマに講座やイベントの機会をつくり、コミュニティ形成と地域をつなぐを促進することです。3つ目は、区役所がつなぎ役となり、多様な活動主体と連携協働して地域活動を支援することです。

10ページを御覧ください。

進捗を示す指標です。地域活動協議会が自律的に課題解決に取り組んでいると考える割合を94%以上、防災講座やイベント等でつながり促進のパンフレット配布を1,000人以上、そして企業、学校、団体等と区役所が連携して、新たに地域活動を支援した件数を3件以上とします。以上の取組により、参加の裾野を広げ、地域のつながりを再構築してまいります。

11ページを御覧ください。

教育環境の支援についてです。

まず、課題認識です。子どもが夢や目標を持つきっかけとなるよう学校の学びに加えて、実社会に触れる経験を得られる支援を区として小中学校に行く必要があると認識しております。

次に、課題解決の方策です。区内に集積する企業・団体、文化施設などの地域資源をいかし、小中学校に向け、多様な体験授業を実施します。具体的には、文化、芸術に触れる体験、専門性の高い学びを体験する機会などを設け、子どもたちが知らなかった世界に出会える場を増やしていきます。

最後に、進捗を示す指標です。区が実施する体験事業に参加した中学生のうち、夢を持っている、または夢を持ちたいと回答した割合を90%以上とします。この指標を基に事業の内容改善も継続しながら、子どもたちの将来の意欲につながる取組を進めてまいります。

12ページを御覧ください。

令和8年度の新規項目として、官民連携の推進についてです。

北区には、企業や専門学校など多くの地域資源が集積している強みがあります。そこで、企業等との連携をさらに進め、大阪・関西万博のレガシーとして、各企業、団体がそれぞれの強みを生かしたイベントを実施し、職業体験や学びの機会を通じて、子どもたちが夢や目標を描くきっかけをつくるとともに、官民連携を一段と推進していきます。

進捗を示す指標としては、（仮称）北区官民連携イベントで連携する企業、学校、団体等の数を30団体以上とします。

（仮称）北区官民連携イベントについて御説明します。

北区役所では、様々な分野で企業等との連携推進に積極的に取り組んでいます。これまで官民連携の推進と子どもたちの夢づくりを目的に、令和5年度から3年間にわたり「夢キタ万博」を開催し、延べ3万人を超える来場者を迎えてきました。令和8年度もこの取組を（仮称）北区官民連携イベントとして継続開催いたします。企業や専門学校などがそれぞれの強みを生かした職業体験や学びの機会を提供することで、子どもたちの夢づくりにつなげるとともに、地域全体の活力向上、地域のつながりの促進に取り組んでまいります。

説明は以上です。

○吉川議長

ありがとうございます。

ただいまの説明に対しまして何か御意見、御質問はございませんか。

それでは、ないようでしたら、こちらから、誠に恐縮ですが、指名をさせていただいてよろしいでしょうかね。

奥委員、どうですか。何かお考え、感じられたこと。

○奥委員

そうですね。前にも一遍、ちょっとだけ出たのかどうかちょっと忘れたんですけども、いきいき百歳体操とか、はつらつ脳活性化とかというネーミングの話が多分、出たかなと。百歳体操というのは、100歳ができる体操ではなくて、100歳まで元気に過ごせるように今からやっておきましょうというふうな体操の意味だったと思うんですけども、なんせネーミングが百歳体操になっているので、どっちかというと、

100歳の方が体操ができるのかなというような感じの見受け方が多いので、これは多分、ネーミングだけの問題にはなると思うんですけども、はつらつ脳活性化も何となく硬いイメージやし、いきいき百歳体操も、いきいき百歳、100歳まで生きられるのをもうちょっと違う言い方をすると、もう少し若い人たちも参加がしやすいという言い方にはなると思うんですけども、そういうふうなことのネーミングをどこがつけてどういうふうにしなあかんのかというのがちょっと分からないですけども、そういうふうなこともちょっと役所のほうで一遍考えていただいて、このネーミングじゃなくても、ちょっと違うネーミングでもいいん違うかというようなことを例えばアンケートで取ってみてというようなことでもどうかなというふうにして思います。すみません。

○吉川議長

ありがとうございました。貴重な御意見ありがとうございます。

これに対しまして、よろしく申し上げます。

○兼坂健康課長

健康課長の兼坂です。御意見ありがとうございます。

実はいきいき百歳体操というのは高知県のほうで始まったブランドのようなものになっておりますので、名前を変えるのはなかなか難しいところがございます。

はつらつ脳活性化教室につきましても、これは平成22年にこの北区で地域の方々を交えて検討会をつくってやってきた歴史ある名前ではあるので、なかなか変えるのは難しいんですけども、御意見にありましたように、若い方々に参加していただくというのが非常に大事なところでありますので、また検討を進めてまいりたいと思います。ありがとうございます。

○吉川議長

ありがとうございます。

奥委員、今のでよろしいでしょうか。

○奥委員

はい。

○吉川議長

ほかに。どうぞ。

○井筒委員

西天満だけのちょっと特殊なことなんですけれども、西天満は住所と町会名と違うんですよ。何か訳の分からんことを昔やったらしくて、西天満一丁目から六丁目まであるんですが、町会は旧町名のままなんですよ。だから新しい住民の方がどこの町会の人かというのが本人も多分、分からないと思うんですよ。あれ戻せないですかね。

○寺本区長

戻すというのは。

○井筒委員

昔の町会に。でも、町会は今も旧町会でお金を集めて、そのまま活動しているんですよ。そやけれども住所は西天満で、西天満五丁目でも伊勢町、富田町、いろいろありますけれども、新しく入ってきた人は自分の町会が分からないんですよ。そやから町会を勧誘に行くのも、えっとか言われるのが多いので、そやから西天満五丁目町会というのはないんですよ。それ何か分かるような方法をつくっていただくと非常に

ありがたいんですけれどもね。

○吉川議長

ありがとうございます。

○井筒委員

すみません、地区だけのことなんですけれども。

○吉川議長

ちょっとこれ難しい問題でしょうけれども、これは実は済美のほうもちょっと若干あるんですよ。

○井筒委員

そうなんですか。

○吉川議長

若干ちょっとあったんですけれどもね。何とか解決していかな仕方ないなど。

何かこれ、いい方法ございますか。何かアドバイスをいただければ。

○井筒委員

区切りが違うから。五丁目の中に何町会が入っているというので、五丁目と六丁目にわたって町会があるとかね。国道とかあんなんでも、適当に四角く分けてしまったんで、もともと1号線を越えて町会があったところが今もそのままの町会なんですよ。

○寺本区長

なるほど。

○吉川議長

これも昭和52年のときに住居表示が変わりましたわね。そのときに変わったと思うんですよ。そやからあのときの経過というか、何かいろいろあったんだと思いますわ。

○井筒委員

そやから、いっそ町会も変えてしまえばよかったのに、そのままの町会で残っているから。

○吉川議長

住民の方々はそれで今も慣れているからね。

○井筒委員

昔から住んでいる人は。新しく来た人が分からないんです。

○吉川議長

転入された方がね。これはもうちょっとこれからの議題やと思いますので、ひとつ検討をお願いできたらと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

ほかにございませんか。

栗原委員、よろしくをお願いします。

○栗原委員

御意見はないんですけれども、私、はつらつ脳活性化、やっと1年目なんで、うち

は滝川地域はもともと少人数でやっていますので、でも昨日、会合がありましたんですよね。講習が各地域のサポーターさんばかり集まって、交流というか、そういうのをしていただいたときに、やっぱり40名いらっしゃるとか、私のところは十五、六名なんですけれども、すごいサポーターのスタッフさんが7人いらっしゃるとか、結構規模が大きいんですね。

それで、やっぱり男の方も来ていらっしゃるとい地域もあったり、でも私のところの地域は男の方、最初るとき1回来ただけで、もうこれは駄目だと思って、それから来られないんですよ。そしたら、この前、ふれあい喫茶のときに1人、94歳のお元気なおじいちゃんが、すごい元気なんです。大阪城へ体操も行ってはるし、1人で暮らしてはるし、奥さんは早くに亡くなって、本当に独り暮らししているんだけど、しみじみと言うんですよね。僕ら、介護保険がないので、元気なもんですから、それは介護認定をいただけませんよね。だからデイサービスも行けないし、じっと家でテレビの番をしていると。だから、というて、じゃ、脳活とか来てくださいと言っても、あんなところ、おばちゃんばかりやしなつて。ああ、そうなんやと思って。だから、健康でいらっしゃるんだけど、やっぱり行き場がないというのもちょっと、だから各地域で、いろんな本当に活動はたくさんしていらっしゃるんですけども、やっぱりそういう方もいらっしゃるのかな。だから昔みたいに本当にどっかが、どっかで同じような人が気楽に集まるところ、そういう田舎でないので、そういうのはちょっと無理なんかもしれないんですけども。やっぱり今、集会所があっても、やっぱり管理してくださる方がいらっしゃるので、用事がないとなかなか行けない。ちょっとぶらっと行って遊ばせてもらえる雰囲気ではないんですね。それは警備のいろんなことがあるので、だから本当にお元気だけれども寂しい思いをしている人もいるんだなって、この前、つくづく思いました。でも、女の方は大丈夫です。皆さん、元気に頑張ってます。

○吉川議長

ありがとうございます。

中谷副区長、よろしく申し上げます。

○中谷副区長

先ほど大宮委員から御意見があったことについて今調べさせていただいたので、この場で御紹介させていただきます。

大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度というものがあまして、高齢者でありますとか、障がい者、外国人の方といった民間住宅、賃貸住宅を見つけにくい人たちをサポートするための制度として、協力していただける住宅あるいは不動産屋さん、協力店というのが登録されていて、大阪府ホームページの検索システムから閲覧できます。

今調べたら、協力店が大阪市北区でも40店舗登録されているという情報が出てきましたので、一旦その協力店として登録されているところに御相談いただければよいのではないかと思います。

○吉川議長

ありがとうございます。

大宮委員、ちょっと参考にして提案してあげてください。どうぞよろしく願いいたします。

○大宮委員

ありがとうございます。はい、ぜひ参考にさせていただきます。ありがとうございます。

○吉川議長

ありがとうございます。

次に、國米委員、何かありますでしょうか。

○國米委員

すみません。初めてなので、よく今日は皆様の御意見を聞かせていただきました。先ほどの地名の件とか、大阪は古いまちです。文化、芸術、もう少し皆さんの間に行き渡ったらいいなど、今日はそういうふうに。地名にもそれぞれ由来があり、神社仏閣それぞれありますし、そういうのが皆さん方にもう少し共に学べる機会があればいいのにな、そういうことがちょっとできたらいいのになということを感じました。

○吉川議長

ありがとうございます。今回は最初ですので、ちょっと緊張されていると思いますけれども、また次回からもひとつよろしく願いいたします。ありがとうございました。

永田委員、何かお感じになったことはありますでしょうか。

○永田委員

いつも北区の皆様にはよくしていただいていますし、北区役所の皆さんにも、青少年指導員でお世話になっております。ありがとうございます。

先ほどの町会の話でいきますと、新しく来た人とかが、こちらはスポーツカーニバルというのを町会区切りでやったりとかしているときに、参加が何丁目からというのは最近にしたんですけれども、前は旧町名でエントリーするようなことをしてまして、そしたら小学生の低学年や幼稚園の子たちは自分が何町におるかというのは全然

把握していないので、それは議題として、改善としたら、もし、自分らの地域をマップみたいなものをつくって、自分は何町やというのを学校で配っていただくとかをすると、自分は何町に住んでいる、またそこには町会があって、町会に加入する推進になるんじゃないかなとは思ったんです。

最近ではやっぱり町会に入る方というのがすごい少なくて、かつ、また町会の人らも、新しい人に入ってこられたら、何か新しい意見をされたら嫌やという部分も見受けられます。ということは、町会というのはどんどん廃れていくのみかなと思っていますので、ぜひ、何かしら町会に入っているからのメリットというのをすごい分かりやすく、また地域でやるイベントについてもプラスアルファな面が出るといいかなと思って日々考えております。というようなことをふと思いました。ありがとうございます。

○吉川議長

貴重な御意見、ありがとうございます。

お待たせしました。村上委員、何かありましたらよろしくお願いします。

○村上委員

ありがとうございます。すみません。私の娘は中学生で北区に住まわせていただいているので、夢キタミュージックフェスで吹奏楽の演奏などをさせていただいて、あと、下の子どもも万博に連れて行ってくださったりとか、あとは劇団四季に中学生を連れて行ってくださったりとか、とてもすごく北区に住んでいてありがたいなと思っています。

万博が終わったんですけれども、今年度も引き続きそういった子どもがわくわくできることを続けて、イベントをしていただけたら、とても親としてありがたいなと思っています。

あと、先ほどの町会の話なんですけれども、私も堀川地域に住んでいるんですが、引っ越してきたのは15年ぐらい前なんですけれども、町会の入り方とか存じ上げなくて、多分、住んでいる御家庭ってすごく堀川地域はたくさん、在校生もたくさんいるんですけれども、皆さん、そういった方法とか御存じなのかなというのをちょっと思いました。そういった方法をもっと、どこを通して知るというのもちょっと分からないんですけれども、学校からなのか何なのか分からないんですけれども、そういった知識がない方もたくさんいらっしゃると思うので、そういったものをもっと分かりやすく知ることができたらありがたいなと思いました。

○大宮委員

新しく転居してきはった方に伺うんですよ、まずは。一軒家とかやったら、すぐ伺うんです。会社が来ても伺うんですね。そして、こちらから、町会のほうから、町会にどうぞ入ってくださいってお願いするんですけれども、必ず返ってくる答えは、どんないいことがありますかって聞かれるんですよ。いいことってなかなか難しいんですよねって、この地域に住んでいる子どもたちを応援するとか、それから会費を頂いて応援していただく、地域の行事を応援していただくという話を本当にそうやから話をしたら、大概入ってくれはれへんのです。ほんで、家がなくなったら、うちの地域なんかすぐマンションが建つんですよ。

でね、その業者さんに言いについても、戸数が多いので、自分たちとしては、管理会社としては入らない。だから、戸別に回ってくれって言われるんです。戸別に入れてくれと言われるんですけれども、なかなか町会もそこまでなかなかできないので、あと、ほかの人たち、同じ堀川の中でも、町会の人にどんなふうに運営してはるのって聞いたら、マンションができるときに、その会社に町会に必ず入るということを条件でマンションが建つって言い合ったから、ああ、そんな方法があったのかと思って、これからはそれでやろうと思っていますけれども。

だから、何かいつも貼ってあるでしょう、いろんな行事があるときに、それもなかなかやっぱり、あれなんていうんですか、公の公園の横とかに掲示板というんですかね。それに貼ってあるんですけれども、なかなかそれもやっぱり見てもらえないから、いろんな行事があるときも全部それでお知らせするんやけれども、町会に入ってはれへんかって、その地域の人やったら参加できる行事というのもたくさんあるので、そちらから1回ちょっと。

○吉川議長

ありがとうございました。その話はまた後ほどしっかりしていただいて、我々、やっぱりほかの地域もやはり今、町会の加入率がすごく低くなっていっていますので、これは我々もぜひ進めていきたいと思っていますので、何かいい案があったらまた教えていただけたらと思います。

一応、皆さん、それぞれに御意見を頂戴しましたけれども、これにつきましてはまた区役所のほうで解決、いい案を提案していただければと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、一通り回りましたので、ここでお忙しい中、御臨席を賜っております議会の先生方に御挨拶、御意見を頂戴したいと思います。

○山本市会議員

こんにちは。市会議員の山本でございます。今日は遅れてきて申し訳ございません。今日は地域の話、西天満に住んでいるので、いつも主人がそんなようなことを話して、町会と名前が分からんとか、合併できんのかなとか、皆さん、現場では大変かと思っています。

主人に提案しまして、掲示板に町会入ろうキャンペーンみたいなポスターをつくって、特典とか書いて、お花見、半額でお弁当を食べられますとか、町会の旅行にすご

い格安で参加できますとか、何か目に見て分かるような、町会に入ると、こんな特典があるよというのが、そういうポスターを掲示板に貼れたらいいねみたいな話をしているところでありましたので、今日の話にしっかりと入らせていただくことができました。

私からは、この今の盆踊りが海外でもはやっているということで、結構外国の方が喜んで一緒に、フィリピンかどこか、1万人とかそういう単位の輪になって、最後はみんな踊れるようになるって、皆で教えながら。何かそういうのが北区で、うめきたとかでは、梅田とかではやっていますけれども、じゃなくて、もっとこの地域に、海外の方も含めて、いっぱい参加しているような夏祭りの盆踊りができたらいいなというふうに、ちょっと花火を上げて、地域に住んでいなくても参加できるような楽しい夏祭りが開催できたらなって思っております。

あと、ちょっとお知らせ的なんですけれども、今度9月からゼロから2歳の子どもの保育料が無償になります。また、認可外の保育所も全部無料になるということで、もしかしたら保育所が足りなくなるんじゃないかなって、お母さんたちがどうかということもちょっと不安になっておりますので、もし何か対応も考えられたらなんと、難しいですけれども、そういうふうに思っているところです。

あともう一点は大阪天満宮駅と南森町駅、また天満橋地域とかが新しく交通バリアフリー基本計画というものの指定に入りましたので、道が車椅子がガタンとなるようなそのエリア内の場所は大体決まっているんですけども、そういうところとか、あと点字の下のああいうのが外れているとか、そういうところもみんなで気をつけながら、こういう場でも意見を言っていけたらいいなと思っております。

どんどん北区がいいまちになっていくことを実感しておりますので、皆さんのお力を借りてできたらいいなと思っています。ありがとうございます。

○吉川議長

ありがとうございました。

続きまして、久谷先生、お願いいたします。

○久谷府議会議員

府議会議員の久谷でございます。今日はどうもお疲れさまでございます。

また、新たに委員になられた方々、どうぞよろしく申し上げます。また、引き続きの方も、さらにかっ達な御意見をいただきながら、区政の繁栄に寄与していただきますことをお願いを申し上げます。

私、生まれ育ちも、済美なんですけれども、諸課題いろいろあると思うんです。済美地域は小学校がなくて、逆に済美地域って、済美って言うたかってどこってなるんですよね。今、逆に中崎町って言うたらヒットするんですけれども、済美言うても分からない。だから、そもそもの町名うんぬんの前の地域名うんぬんがもう分からなくなっているというのがあります。そういう大なり小なり、濃淡いろいろ地域ごとの諸課題というのはあると思うんですけれども、また新たに住まれた方が分かりやすいほうに合わせていくということも、行政的なそういう仕組みの部分については必要なかなと。

一方で、歴史、文化、そういった部分について、もともとの町名、私も中崎町の今、中崎西四丁目ですけれども、そもそもは豊島町という町名でした。そういう豊島というぐらいですから、その辺に川が走っててんやろうなど、島やってんやろうなど、そういうようなことも、町名をひもといていけば、いろんな歴史というのが分かるんだらうということもあるので、その辺はまた文化として育てていくということも大事ななというふうに思っていますので、その辺はまたそれは都市の魅力として引き継いでいったらなというふうに思っております。

あと、中身の話なんですけれども、西野委員からの駐輪場の問題、これは多分、区民の皆さんに対する行政サービスの一環だろうというふうに思っています。これを例

例えば駐輪場をガチャンとタイムパーキングみたいな感じにするとかそんなことをすれば、なかなかまた手続的にも難しいとかいうのもありますけれども、永田委員が今日来ていただいていますけれども、滝川地域の夏祭りの盆踊り、これも公園の一角を駐輪場にしてはったんですけれども、今、自転車自体が電動アシスト自転車になって、1台1台が重いということで、また整理をしていただいている方が、防犯委員の方も高齢化しているということで、もう整理すんのが大変やということで、そもそも盆踊りには自転車で来ないでくださいというようなことで去年からしておられるということを知っています。下手したら、もうわっとなって行儀が悪いというふうになれば、乗ってこんといてくださいというふうなことになりかねるので、これはやはりマナーの向上であるとかということも訴えながら、最後はやっぱり駐輪場をなくすということはなかなか厳しいのかもしれないけれども、地下の駐車場を活用するなり、ちょっとそういった部分の対応もお願いしたいなというふうに思っております。

あと、地域のごみの問題、これも本当にいろいろ大変なんですけれども、これはもちろん、捨てるほうの問題もありますけれども、今、そのお店で食べていただくというよりも、テイクアウトのお店、売りっ放しというお店が多いんです。その売りっ放しのお店のところにはゴミ箱がございません。そしたら、その物を家で食べてくれたらいいんですけれども、その辺で食べられたときにどうすんねんという問題が今、いろいろ起こっていると思います。そういうような中で、もちろん、捨てる人が一番悪いんですけれども、どうやったらごみをなくせるかなというふうに思ったら、多分、捨てた人、また捨てられた、販売した人というお店が特定されるというのが一番具合が悪いのかなというふうに思っています。ですから、例えば販売するお店が必ずビニール袋に入れて渡す、そのビニール袋にはお店のシールを貼るなり、どこのお店で買ったものやとかというように判別するとか、させるということも、これは市の条例でやっていただくとか、そういったこともやることで、捨てる意識、また捨てたところであんたのところのごみやったでって、そこに持っていったらいいわけですか

ら、そういうようなこともやるとかしながら、ごみの軽減をしていかなあかんというふうに感じました。

あと、ごめんなさい、長くなりまして。いきいき体操、私もこの間、区役所でいきいき百歳体操をさせていただきました。あれ、辛気くさいですね。ぽっちゃりした人が1、2、3ってやるんですよね、あれね。モニター見てね。なんですけれども、ちょっとやっぱりラジオ体操も1、2あるぐらい。ちょっとアップテンポのものがあってもいいのかなと。だから、もちろん、百歳体操とか、なかなかそれは変えられないということがあれば、バージョンアップをちょっとつくるとかそういったこともやっていけばいいなというふうに思っていますし、なかなか来てくれないという問題があると思うんですよ。そういった問題で、例えば我々、大阪府議会も出前議会というて、学校へ行ったりとかいうようなことで、出前の議会を開いたりとかしているんです。例えば、おっちゃんばかり集まっているところ、例えば若い人が集まっているところ、そういうようなところに、私どもがちょっとそこに行って、百歳体操を一緒にやりませんかという出かけるということもいいのかなというふうに思ったりしますので、その辺もしながら、来ていただく方はもちろん、ヘビーユーザーで来ていただいたらいいと思うんですけれども、新たにそういう方々を増やしていこうと思ったら、出前で行ってみるということも、それはちょっとまた官民連携の中でやっていく糸口をまた役所の皆さんに御相談しながらやっていただけたらなというふうに思っています。

この令和8年度のこの北区運営方針のままいったら、この北区はもっともっと魅力あるまちになりますし、もっともっと人口が増えるのかなというふうに思っております。その目標に向かって、委員の皆様方のまたさらなる御協力とまたいい知恵を貸していただきながら、よりよい区政運営に発展していただきたいことをお願いをいたします。ありがとうございます。

○吉川議長

ありがとうございました。両先生、ありがとうございました。

参考までにちょっと情報提供ですけれども、盆踊りに関しましては、寺本区長が率先して踊られていますので、ますますこれから行かれると思いますので、どうぞまた引き続き御指導のほうをよろしくお願いいたします。

それでは、最後になりましたが副議長から一言よろしく申し上げます。

○吉沢副議長

よろしいですか。ほかに御意見ございませんか。

今日、新しく委員が決まりまして、これから2年間でございます。2年間の間に、何か委員の間から区政に役立つような意見なり要望なりが出ればいいのかなというふうに思っております。これから2年間、よろしく願いをいたします。

今日はこれでおしまいでございます。

○吉川議長

ちょっと皆さんにお願いといたしますか、次回、何月になるのかな。11月やったかね。

○奥中政策推進課担当係長

6月です。

○吉川議長

6月のときに、意見をもうちょっと提案していただけるように事前にちょっと心構えをして、この会議に臨んでいただければ、運営も楽になると思いますので、どうぞ御協力のほどよろしく。それぞれにテーマを振り分けて、4つに分かれていますので、ひとつ御検討のほどよろしく願いを申し上げます。

それでは、区役所のほうにお返しします。

○寺本区長

吉川議長、吉沢副議長、ありがとうございました。

先ほどいろいろな御意見、地域の本当の課題ですとか、いろいろいただきました。個別の事例の詳細は別途ヒアリングをさせていただいて対応策を一緒に考えたいと思っております。

たばこは大阪市の喫緊の課題でございますので、環境局のほうでは喫煙所の増設に向かって進んでおりますが、建てるには1年、2年かかりますので、なかなか即効果が出てくる対策というのは非常に難しいと思っております。天満駅周辺でも喫煙所の周りにたばこがたくさん落ちているとか、喫煙所があってもそこで吸っていただけないという問題もありますので、啓発、取締り強化も含めて、環境局に伝えていきたいと思っております。

放置自転車につきましては、駅の周りでの撤去の状況も考慮した上で、先ほど総務課長からも話がありましたように、一度、区役所の駐輪場の実態調査もさせていただいて、また、ラックを置いてしまいますとラックの台数以上は止められませんので、区役所や区民センターに来られた方が駐輪できない事態も想定されますから、慎重に考えたいと思います。区役所のほうではシェアするという考え方を広げていきたいと思っております。御承知の方もいらっしゃるかと思いますが、区民センターの天神橋筋側にシェアサイクルを11台ほど置いています。シェアサイクルの利用は北区内におきましてはかなり活発だと思いますし、大体大手3社ぐらいあるんですけども、これがどこでもどなたでも乗れるような形でシェアするという考え方で我々としては進めていきたいと思っております。そのためには、ポートという自転車を止めるところが各所にないと、なかなか御利用いただけないということも分かってきましたので、なるべく近くから乗って近くに置けるように皆さんの利便性が上がるような取組も、

所管局を巻き込んでやっていきたいと思っております。

それから、百歳体操の実施場所26か所以上という目標について御意見がございましたが、19連合地域全てで既に百歳体操はやっていただいておりますので、それをさらに増やしていくということで、意欲的に取り組もうとしていると御理解いただければと思っております。これは場所の問題がありますし、軽々にはなかなか難しいかと思っております。

最後、久谷先生のほうから御提案がありましたが、いきいき百歳体操の名称ややり方については担当部署にて考えたいと思います。またいろんな御意見をいただけたらと思っております。

この1時間半の間にいろいろ広範な御意見をいただきました。今年も各地域の盆踊りへ踊りに行きますので、どうぞよろしく願いいたします。

今日はこれにて終了とさせていただきたいと思います。引き続きどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○吉川議長

ありがとうございました。皆さん、長時間にわたりまして御審議ありがとうございました。また、貴重な御意見も賜りましてありがとうございました。

また、途中で結論が出ていない議題もあろうと思いますので、またこれは区役所のほうから御説明いただきたいと思いますので、どうぞ対応のほうをよろしく願いいたします。

それでは、長時間にわたりましてありがとうございました。

これをもちまして、第49回北区区政会議を終了いたします。ありがとうございました。

6 配布資料

別添のとおり